

子どもの姿	ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・正月遊びから特にカルタに興味をもち、ひらがなの読める子ども増え、子どもたち同士で楽しめるようになっていく。 ・手洗い、うがい、歯磨きや衣服、持ち物の始末など、見通しを持った生活を自分でしようとしている。 ・子ども同士の関わり合いが多くなり保育者の仲介を必要としなくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや保育者と豆まきなどの行事に積極的に参加し伝統文化に親しむ。 ・生活習慣が身につく、自分の力でやり遂げる達成感を感じる ・周囲の自然に興味を持ち積極的に触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 節分集会 1日 英語で遊ぼう 8/22日 避難訓練 14日 おはなし会 15日 お楽しみ会 16日 幼児集会 19日 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の多い時期でもあり、疲れや体調の変化に気を付ける。 ・甘えや寂しさに寄り添い一緒に過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動時や行事の時などに園に遊びに来たお友達と挨拶を交わしたり、一緒に遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始の休園のあとも、大きく生活のリズムも崩れることなく、J 過ごせていた ・お楽しみ会に向けての活動も、少しずつ進めていく中で、人に見せる意識も芽生え、行事を楽しみにしている。 ・普段の楽しく明るい表情が引き出せるように、一人一人に自信がつくような言葉をかけて、3歳児クラス最後の良い経験になるように援助をしていきたい。
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の調節や手洗い、うがいなどを行い、健康的に過ごせるようにする。 ・防寒着の始末が身に付くようにする。 ・進級に向けて基本的な生活習慣の確認をし、個々に合わせた対応をして自分でできたことに自信や満足感を持てるようにする。 ・戸外で体を十分に動かして元気に遊ぶ。 ・生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。 ・共通の目的を持ちルールを守ったり協力したりして意欲的に活動する ・友だちとの遊びの中で相手の思いに気付き、ゆずり合ったり我慢したりすることを知る。 ・冬の自然に親しみ氷や霜柱を観察したり触れたりする ・友だちと思いを伝え合いながらコーナー遊びを楽しむ ・さまざまな素材を使いイメージを膨らませ作品や遊び道具を製作する。 ・曲に合わせて歌ったり、踊ったり、弾くことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付いた習慣を継続していく為にも、石鹸やコップ、紙タオルを切らさず水道の近くに用意する。 ・進級するクラスの違いに気付けるようにし、異年齢交流で進級への期待や意欲につなげる。 ・体が温まるような遊びを用意する。 ・生活習慣について子どもたちと一緒に振り返り、具体的に見直す場を持つ。 ・自分たちで見通しを持ち、目的を持って進めていけるように予定表や当番表を作る。 ・譲り合ったり我慢したりすることで友だちと楽しく遊ぶことができることを知らせる。 ・自然の中で感じた疑問や興味が広がるよう科学絵本や図鑑などを用意する。 ・コーナー遊びで思いや感じたことが、ゆっくり話せるような雰囲気作りをする。 ・製作が直ぐにできるようにさまざまな材料(廃材)や道具を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も一緒に行い、必要性を繰り返し伝え、できるように援助する。 ・手を添えながらも自分でできるようにしていく。 ・一人ひとりの身の回りのことができているかを確認し、出来たことを喜び、自信が持てるようにする。 ・保育者が積極的に戸外へ出て、身体を動かす心地よさを感じられるようにする。 ・その都度、子どもたちが自ら気付くような言葉かけをしていく。 ・目的に向かって取り組んでいる姿を認め、友だちと一緒に協力する楽しさや満足感を感じられるようにする。 ・友だちと関わって遊ぶ中で、相手の思いに気付くように仲立ちをしていく。 ・子どもの発見や驚きを受け止め共感し、友だちに知らせたり話したりして冬の自然現象に興味や関心を持つようにする。 ・言葉で表現しようとする気持ちを大切に保育者が必要に応じて言葉を補いやり取りが楽しめるようにする。 ・イメージに向かって取り組む姿を見守り出来ない部分は援助し自分で作った喜びを感じられるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいなどは保育者が一緒に行う事で、一人一人がじっくり行えるようになってきている。また、排泄後もお互いに声をかけあいながら、手洗いをしている姿が見られる。 ・登降園に着用する上着と園で使用の上着の区別がつくようになり、身支度などは自分で用意している。 ・ファスナーやボタンは、着ているとはめづらかったりすると、子どもたち同士で向かい合いながら、お互いにはめたり開めたりしている。 ・子どもたちの意欲を大切にしながら今後も取り組んでいく。 ・寒さに負けず、戸外に出て遊ぶ機会を多く取り入れた。 ・友だち同士でルールを確認したり、教え合ったりする姿が見られ、子どもたちで遊びを展開できるようになってきた。 ・自信がついてきた現れもあり、友だちのしている事をよく見て、それを指摘する子が増えてきている。内容は間違っていないくても、言い方や相手の気持ちを汲んで話すようにその都度促している。 ・散歩などをしながら、道中で車や冬の食べ物などを商店街で見学して、季節を感じる事ができた。来月は、少しずつ春の訪れを感じながら進級に向けて期待を持てるように過ごしていく。 ・節分の制作では、折り紙やのりを使って、集中して取り組むことができていた。また、出来上がった達成感をどの子どもも感じていて節分に使用するのを楽しみにしていた。手先が器用になってきているので、今後も個々の作り物を充実させていきたい。 	
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事に関連した食べ物の由来を知る。 ・クッキングに楽しんで取り組む。(ピーマン、タマネギの皮むき・肉まん作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・節分に豆を食べる由来を知らせるために紙芝居や絵本を用意する。 ・清潔や身支度を自分で行うことができるように取りやすいところに準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・由来を分かり易く話し、絵本や紙芝居を読む。 ・自分で作った達成感や喜びにつながるように手を添えたり声をかけたりし、一緒に楽しく食べる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・節分は豆をまいたり、恵方巻きを食べるなど、楽しく行事に参加することができた。 ・食欲がわき、おかわりをする子が増える。 ・時間内に完食できるのが日常になってきている。 	